

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		お子様の人数や活動プログラムによって、1階と2階で過ごすスペースを分けたり、ホワイトボードでパーティションを作るなど、適切な活動スペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	個別対応支援が多く、状況によっては職員の人数配置が適切でない環境の時もあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		1日の流れを掲示し、見通しの持てる環境を設定しています。当施設は公共施設に近い構造を意識し、二階建てで階段がある為、完全なバリアフリーではないです。今後補助が必要な利用者様には補助をしていく必要があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の清掃、随時消毒、必要に応じた換気を行っています。室内は目的や利用人数に合わせて机等の配置を整えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		必要時に個室を使用できるよう、机や椅子、環境の設定をしています。リラクゼーションルームや個別の面談室などは、安全面も考慮し普段は施錠しているが、お子様の状況によって使用出来るようにしています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		月例会議を開催し、目標設定と振り返りを行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者様から頂いたご意見を職員間で共有し、改善・対応を考え、業務改善に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎朝行われている朝礼や月例会議等で情報共有や意見交換を行い、日々の支援に反映させています。共有事項などは回覧版を用いて職員全体が把握できるよう努めています。 情報の記録はLINEWORKSを活用し、文章として残しています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		第三者による外部評価の機会を設け、業務改善につなげているよう努めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		毎年社員総会の中で研修を行っています。 日々の業務の中でもジョブメドレーアカデミーを使用し、個別で研修を受講できる環境が設定されています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムの作成、公表は行っています。 個別支援計画に基づいた支援が行えるよう、今後も努めていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		送迎時や必要に応じて保護者面談を設けるなどして、ニーズの聞き取りを行い、支援が必要とされる点のすり合わせを行っています。 お子様に対してのアセスメントについて、定期的に個人と面談を行い、ニーズが聞ける環境を作っています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		計画書やモニタリング等複数の職員で評価をし、それぞれの課題に合わせた支援方法を検討しています。今後も、定期的に適切に実施をしていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		全職員が見ることのできる場所に保管されています。計画に沿った支援が出来るよう、支援内容の把握、理解に努めています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		送迎時や必要に応じて保護者面談・担当者会議を設け、日々の行動の様子を職員間で共有しています。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		各支援項目を踏まえた上で、保護者様やお子様のニーズに基づき個々に必要な支援内容を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員で意見を出し合い活動プログラムを作成しています。種目ごとに担当者を決め、意見交換を行う機会を作っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節に合わせた内容や、その時折のお子様の状況や課題に合わせた活動内容を考えています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	活動内容によって、個別でも集団でも適した支援が行えるよう計画しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎朝朝礼を行い、プログラムの共有や、送迎、業務、支援配置などの役割分担の確認を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		終礼の形として実施することはできていないが、職員間での情報共有は、LINEWORKSや回覧板、その他関連ファイルを用いて行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		HUGを用いて日々の記録をとり、職員間で共有事項があれば話し合いやLINEWORKSなどでお子様の様子や支援に関しての共有を行っています。支援時には検証や実践をし、改善に努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	2	職員間で定期的にモニタリングを行っています。お子様の新たな課題発見や適切な支援につながる支援方法の見直しを行えるよう、今後も努めていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4		個別支援計画の内容に組み込みながら支援を行っています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		自己判断ができるよう選択肢を複数設けながら支援するとともに、自己決定のしやすい声掛けや環境作りを行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		会議参加前に、対象児の状況などを把握したうえで、会議に参画しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	必要に応じて学校面談等に参加し、教育機関と連携して統一された支援が行われるようにしています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		必要に応じて、学校との連携を取り、お子様の支援や日々の利用に関する確認を取っています。保護者様からの協力のもと、連携を取りさらにスムーズな対応が出来るよう努めています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4	同グループの児童発達支援事業所との連携は取れているが、就学前の保育所や幼稚園などとも連携は取れていません。必要に応じて情報共有などの連携が取れるよう努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3	現在は、障害福祉サービス事業所等へ移行するお子様が不在の為情報提供する機会はありません。今後移行支援がある場合には情報提供を密に行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4	児童発達支援センターと連携をとる機会はありません。今後、機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	グループ会社の中での共通のイベントを実施し交流する機会はあるも、グループ外で他の子どもと活動する機会はほとんどありません。今後、機会を設けていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	必要時、定期的に代表者が会議に参加しています。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時やLINEで情報共有を行い、必要に応じて保護者面談 を設け、共通した理解につなげています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援 プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加 できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	保護者面談等で子育てに関する相談を受けることはあるが、 研修や支援プログラムとしての提供は乏しいため、今後検討 していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説 明を行っているか。	4		契約時、内容変更時、利用者様から質問を受けた際などには 適切な説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		利用者については主に利用中、家族については送迎時、 LINE、面談での意向確認をする機会を設けています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明 を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得て いるか。	4		電子データとして計画書を提示しているため、口頭で内容に ついて説明し同意を得ています。計画書を示しながらは行え ていないこともあります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面 談や必要な助言と支援を行っているか。	4		送迎時などで悩みの相談を受け、その場で助言を行っています。 相談内容によって1度施設へ持ち帰り職員間で情報を共有、今後 の対応を考え、面談などの機会を設けて支援を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等 により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をして いるか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の 支援をしているか。	3	1	外出プログラムや親子参加型プログラム、保護者説明会等を 提供し、保護者同士の交流する機会を設けています。 きょうだい同士で交流する機会に関しては今後設けていき たいと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備する とともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応しているか。	1	3	体制の整備や迅速かつ適切な対応が不十分な場合があります。 今後、改善に努めていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用する ことにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこど もや保護者に対して発信しているか。	4		インスタグラムを利用し、活動の様子や職員の情報などを発 信しています。重要事項や活動等についてはHUGアプリを 通して発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報の取扱いに十分留意しています。 「SNS発信がNG」など、保護者様から情報発信の許可をい ただき対応しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮をしているか。	4		場面緘黙の子に対して絵カードを使用したり、筆談等を通して意思の疎通 を行っています。 日本語が苦手な保護者に対しては翻訳アプリを使用し、保護者様に合わせ た言語を用いた文章で伝達するなど配慮を行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業 運営を図っているか。	1	3	地域住民などを招待する行事の開催は行えていません。 今後、地域住民との交流機会を設けていくことを検討してい きます。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとと もに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		防災マニュアルについてはHUGにてお知らせいたしました。 その他のマニュアルに関しては、今後お知らせしていきます。 訓練の実施に関しましては、併せて行っていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生 に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている か。	4		毎月施設内や実践を通して避難訓練を実施しています。今後 は保護者様とも連携を取りながら行う避難訓練も取り入れて いきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を 確認しているか。	4		服薬書類を用いて保護者からの情報提供をもとに服薬状況の 把握を行っています。 緊急を要する場合の対応方法は全職員に周知しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づ く対応がされているか。	4		食物アレルギーを持つお子様の一覧表を作り、全職員が周知できるよう事 務所内に掲示しています。 対応方法を周知するとともに、対応方法が記載されている用紙を保管して います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必 要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行わ れているか。	4		安全計画に基づいた支援を行っています。 安全計画を全職員が把握し、今後も十分な安全管理に努めて いきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよ う、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知して いるか。	3	1	保護者様との連携が取れるように連絡手段は繋げています。 安全計画に基づく取組内容について、改めて保護者様に 周知していきます。

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットが起こった時点で、その日の内に共有し再発防止の提案、実施の確認を行っています。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		ジョブメドレーアカデミーのオンライン研修にて全職員が履修しています。虐待防止チェックを定期的に全職員対象で行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	2	今後、身体拘束を必要とする場合には組織的に判断していきます。